

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401010100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	芸術文化振興補助金事業		予算事業名	文化振興補助金事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦 担当者名 末政 友紀	
		取組み事項	市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	文化団体					
	誰(何)を対象として	市内を活動の基盤とする芸術文化団体					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民の芸術文化活動を支援し、本市の芸術文化活動の一層の活性化を図る					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		芸術文化団体が行う創作発表事業に対して助成を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	補助金	円	264000	264000	240000	
	芸術文化活動助成金	円	474000	856000	339000	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.056	0.056	100	0.080	143		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	786,044	788,549	100	912,520	116		
	事業費	738,000	1,120,000	152	579,000	52		
	合計	1,524,044	1,908,549	125	1,491,520	78		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	1,524,044	1,908,549	125	1,491,520	78		
合計	1,524,044	1,908,549	125	1,491,520	78			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化協会会員数						
指標説明(式)		人数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
人数	目標	1200	1200	100.0	1200	100.0	0.0	
	実績	1180	1110	94.1	1110	100.0		
指標名2		芸術文化活動助成団体						
指標説明(式)		団体数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
数	目標	10	10	100.0	10	100.0		
	実績	5	9	180.0	5	55.6		

【効率性】

指標名1		協会員一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷人数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	1700	1700	100.0	1700	100.0			
	実績	1291	1719	133.2	1344	78.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	より一層の成果を求める。	4
	期待する目標	多種多様な芸術文化団体を支援することで、本市の芸術文化活動が活性化し、文化振興の目的を達成できる。	
効率性	コストの節減	補助金の適正化を検討していく。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	高齢化等により、各団体の会員数が減少傾向にある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	各団体の活動に対して検証と見直しを訴え、成果の向上を促すとともに、新規団体の入会を推進する

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401010200		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	芸術文化活動振興事業		予算事業名	芸術文化活動振興事業 優先度 3		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会学校教育課		
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	山本 哲也	担当者名	竹口 智哉
		取組み事項	市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	小・中学校の児童・生徒						
	誰(何)を対象として	小・中学校の児童・生徒						
	意図(どのような状態にしたいのか)	児童・生徒の文化活動の振興と向上を図る。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		書道・音楽活動等文化活動による近畿大会以上に出場した児童・生徒及び団体に対し、補助金を交付する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	補助金	円	0	0	0	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員		0.020	-	0.020	100		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	369,740	522,509	141	506,320	97		
	事業費	0	0	-	0	-		
	合計	369,740	522,509	141	506,320	97		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	369,740	522,509	141	506,320	97		
	合計	369,740	522,509	141	506,320	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標			-		-	-	
	実績			-		-	-	

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	対象者の近畿大会以上の出場実績は無い。	1
効率性	執行体制の効率性	適切な体制を整えているが、対象者は無し。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	対象者の近畿大会以上の出場実績無し。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容

配点	32.5
総合評価	17.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401010300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業		予算事業名	スポーツ・文化芸術顕彰事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 末政 友紀
		取組み事項	市民文化活動を振興する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民(の文化芸術振興)					
	誰(何)を対象として	権威ある大会等において成績が顕著な者					
	意図(どのような状態にしたいのか)	顕彰を贈呈する					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市の文化芸術の振興にあたり、権威ある大会等において成績が顕著な者に対し、文化芸術顕彰を贈呈する。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	文化芸術顕彰授与	件	2	3	1		

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円			
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.004	0.004	100	0.012	300		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	399,476	404,269	101	452,160	112		
	事業費	79,600	105,600	133	17,200	16		
	合計	479,076	509,869	106	469,360	92		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	479,076	509,869	106	469,360	92		
合計	479,076	509,869	106	469,360	92			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		受賞者数						
指標説明(式)		人数(団体数)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
	目標	4	2	50.0	4	200.0	0.0	
	実績	2	3	150.0	1	33.3		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		受賞者一人あたりコスト							
指標説明(式)		(事業費+人件費)÷受賞者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標	157140	295352	188.0	331213	112.1			
	実績	239538	169956	71.0	469360	276.2			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果の向上	文化活動レベルの向上が期待される。	3
	期待する目標	顕彰制度が周知されることで、文化活動を行う者の一目標となりうる。	
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく。	3
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね予定通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	情報把握の効率性、正確性を高めていく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
効率性	執行体制の効率性	各文化団体などとの情報共有に努める。

配点	32.5
総合評価	21

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401020100		事業の種類	5	
年度	2	事務事業名	中学生ペーロン推進事業		予算事業名	中学生ペーロン推進事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	市民生活部地域振興課	
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	宮下 忠和 担当者名 中谷 有輝	
		取組み事項	文化事業を実施する		実施計画への記載	無 主要事業の指定 無	
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	中学生					
	誰(何)を対象として	中学生					
	意図(どのような状態にしたいのか)	相生の伝統文化である「ペーロン」を体験し、ふるさとを愛する心をはぐくむとともに、ペーロン船をクラス全員が協力して漕ぐことにより、学級の団結力を高める。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		市内3中学校1年生によるペーロン体験乗船及びペーロン競漕				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	中学生参加者数	人	231	208	0	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.008	0.068	850	0.032	47	
	臨時職員			-		-	
支出内訳	人件費	429,212	877,229	204	587,560	67	
	事業費	550,000	300,000	55	0	0	
	合計	979,212	1,177,229	120	587,560	50	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	979,212	1,177,229	120	587,560	50	
合計	979,212	1,177,229	120	587,560	50		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		中学生参加者数						
指標説明(式)		中学生参加者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	200	207	103.5	231	111.6		0.0
	実績	231	208	90.0	0	0.0		
指標名2								
指標説明(式)								
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
	目標			-		-		
	実績			-		-		

【効率性】

指標名1		中学生参加者1人当りに係る費用							
指標説明(式)		支出合計(人件費含む)÷中学生参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	4778	7103	148.7	5149	72.5			
	実績	4239	5660	133.5	0	0.0			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染拡大の影響により令和2年度は中止となった。ペーロンを体験し伝統文化に触れるとともに、集団活動による団結力の向上という点で大変意義がある。	4
効率性	手段の最適性	例年平日に開催しているため、ボランティア指導員の招集に苦勞を要している。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	新型コロナウイルス感染拡大の影響により中止となった。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	現状では直線300mのレースの実施となっており、ターン旋回を含めた往復600mのレースが行えていない。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
妥当性	目的の妥当性	伝統文化継承の観点から、ターン旋回を含めた往復600mのレースの実施を検討する。

配点	32.5
総合評価	23

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401020200		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	芸術文化振興事業		予算事業名	文化振興事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 末政 友紀	
		取組み事項	文化事業を実施する		実施計画への記載	無	主要事業の指定	無
実施計画事業名								
根拠法規及び関連法規								
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	芸術文化活動						
	意図(どのような状態にしたいのか)	美術展など芸術文化にふれる機会を提供し、市民の自発的芸術文化活動が盛んに行われることにより、こころ豊かな生活が送れる						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		文化祭・美術展を実施する。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	文化祭	事業	15	15	13	
	美術展	回数	1	1	0	

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.620	0.622	100	0.814	131	
	臨時職員	0.021	0.094	448	0.063	67	
支出内訳	人件費	5,036,969	5,210,989	103	6,055,122	116	
	事業費	2,629,260	2,524,604	96	1,460,000	58	
	合計	7,666,229	7,735,593	101	7,515,122	97	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	7,666,229	7,735,593	101	7,515,122	97	
合計	7,666,229	7,735,593	101	7,515,122	97		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化祭出演者数						
指標説明(式)		出演者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
実績	目標	2000	2000	100.0	2000	100.0	0.0	
	実績	1835	1791	97.6	1007	56.2		
指標名2		美術展出品数						
指標説明(式)		出品点数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
点数	目標	250	300	120.0	300	100.0		
	実績	275	253	92.0	0	0.0		

【効率性】

指標名1		一人あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷参加者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	660	634	96.1	634	100.0			
	実績	715	695	97.2	635	91.4			

指標名2		出品一点あたりコスト							
指標説明(式)		事業費÷出品数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	10560	8453	80.0	8453	100.0			
	実績	9560	9979	104.4	0	0.0			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	より多くの市民に優れた芸術文化の鑑賞、創作発表の機会を与える。	4
	期待する目標	文化の発展を促進するために、市内の参加率向上を目指す。	
効率性	手段の最適性	委託事業とし、専門的な意見を取り入れることで効率的な運営を行えた。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	計画どおりに進んでいる	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果の向上	文化会館の持つ機能を有効に活用し、より質の高い事業となるように文化会館管理係とも協力していく。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	市民ニーズ	市民のニーズを聞きながら、より多くの市民に参加していただけるように見直しを行う。

配点	32.5
総合評価	22.5

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401030300		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	相生市文化会館管理運営事業		予算事業名	相生市文化会館管理運営事業 優先度 3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 寺田 知広
		取組み事項	文化施設の充実を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
		実施計画事業名	文化会館維持管理事業		文化会館更新事業		
		根拠法規及び関連法規	相生市文化会館の設置及び管理に関する条例				
事業の目的	誰のために(具体的に)	全市民					
	誰(何)を対象として	全市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民自らの文化活動を促し、市民の交流と文化の向上を図る場を提供する。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		文化会館の管理運営、その他条例で定められた管理運営事業を行い、文化芸術活動の提供を行う。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	利用件数	件	2,823	2,817	1,517	
	利用者数	人	164,270	152,991	37,270	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	2.266	2.260	100	2.112	93		
	臨時職員	1.977	1.915	97	1.550	81		
支出内訳	人件費	22,689,497	21,959,359	97	18,935,890	86		
	事業費	59,639,668	55,533,327	93	85,114,560	153		
	合計	82,329,165	77,492,686	94	104,050,450	134		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他	10,904,341	10,013,603	92		0		
	一般財源	71,424,824	67,479,083	94	104,050,450	154		
合計	82,329,165	77,492,686	94	104,050,450	134			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		文化会館利用状況						
指標説明(式)		文化会館利用人員						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	180,000	180,000	100.0	160,000	88.9	93.8	
	実績	164,270	152,991	93.1	37,270	24.4		
指標名2		自主事業来場者						
指標説明(式)		自主事業来場者数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	5,000	6,000	120.0	6,000	100.0		
	実績	6,170	5,100	82.7	2,725	53.4		

【効率性】

指標名1		文化会館管理事業費							
指標説明(式)		文化会館管理事業費総額							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	66,520,000	62,467,000	93.9	93,007,000	148.9			
	実績	59,639,668	55,533,327	93.1	83,875,190	151.0			
指標名2		利用者1人あたりのコスト							
指標説明(式)		支出合計／利用者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	508	475	93.5	696	146.5			
	実績	501	507	101.2	2,792	550.7			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	利用者数については、新型コロナウイルスの流行により、4月以降、事業の中止及び予約のキャンセルが相次いだ結果、昨年度から大幅に減少することとなった。	3
	市民サービス	実施できる範囲で事業を行い、その事業の中では参加機会を提供することができた。	
効率性	コストの節減	オンライン会議、イベント等の会館利用に対応するため、無線LANを導入してインターネット環境を整備し、利用者の利便性向上を図った。	5
	手段の最適性	会館の予約システムを変更し、費用対効果を考慮した管理運営方法の見直しを行った。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	企画委員会をはじめとする市民の意見を尊重しながら、館の運営全般について方向を決めている。	4

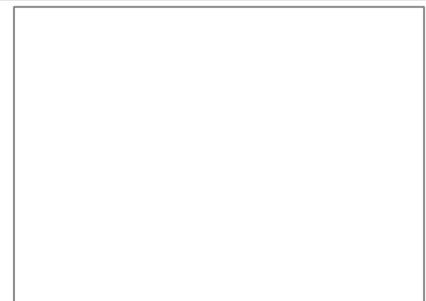
6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	幅広い世代が興味関心を持てるような魅力的な自主事業のあり方を比較検討していく必要がある。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価視点	内容
効率性	手段の最適性	親しみのある会館利用について、コロナ禍に対応した周知方法を検討する。



配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401040100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	文化財運営事業		予算事業名	文化財事業	
		文化財運営事業			優先度	3	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課	
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 桑本 健一
		取組み事項	文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規		文化財保護法、相生市文化財保護条例					
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民					
	誰(何)を対象として	文化財					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市内文化財の保護と活用を図ることが郷土愛につながる。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		文化財を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	文化財保護事業(清掃作業等)	件	9	9	9	
	歴史講座の実施	回	23	20	17	
	史跡めぐりの実施	回	10	11	7	
	古文書講座の実施	回	12	10	-	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比		備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.120	0.240	200	0.223	93		
	臨時職員	0.211	0.207	98	0.100	48		
支出内訳	人件費	1,846,079	2,676,159	145	2,008,530	75		
	事業費	1,920,696	1,406,084	73	3,682,716	262		
	合計	3,766,775	4,082,243	108	5,691,246	139		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	3,766,775	4,082,243	108	5,691,246	139		
合計	3,766,775	4,082,243	108	5,691,246	139			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		歴史講座及び史跡めぐりの開催回数						
指標説明(式)		年間開催回数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人数	目標	44	44	100.0	35	79.5		
	実績	45	41	91.1	24	58.5		
指標名2		人口1人当たりの文化財関連経費						
指標説明(式)		文化財関連事業費(人件費を除く)÷相生市の人口						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
円	目標	66	68	103.0	129	189.7		
	実績	65	48	73.8	129	268.8		

【効率性】

指標名1									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	コスト面からみて、これ以上の減額は難しく、成果の維持を保っている。	4
	市民サービス	文化財を市民共通の財産として後世へ引継ぐことは市民サービスに不可欠である。	
効率性	コストの節減	事業費削減の中、文化財の維持管理上、必要最低限のところまで切り詰めていることから、これ以上のコスト削減の余地はないと思われる。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	市内に残る文化財の維持管理をどのように行っていくか。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	パンフレットや歴史講座、史跡めぐりなどの資料館事業をとおして、市民に市内に残る文化財のPRを行っていききたい。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401040300		事業の種類	4		
年度	2	事務事業名	資料館管理事業		予算事業名	資料館管理事業		
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	教育委員会生涯学習課		
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	桑名 雅彦	担当者名 桑本 健一	
		取組み事項	文化財の保存と活用を図る		実施計画への記載	有	主要事業の指定	無
実施計画事業名		資料館維持管理事業						
根拠法規及び関連法規		相生市立歴史民俗資料館条例						
事業の目的	誰のために(具体的に)	市民						
	誰(何)を対象として	歴史民俗資料館						
	意図(どのような状態にしたいのか)	郷土資料の収集、保存、活用を図ることが郷土愛につながる。						

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		郷土資料を適正に管理し、市民の関心と理解を深める。					
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績		
	資料館管理事業(特別展の開催)	回	2	2	3		

## 3 投入資源

会計区分		一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103	
	参事以下職員	0.208	0.346	166	0.877	253	
	臨時職員	0.556	0.560	101	0.561	100	
支出内訳	人件費	3,455,576	4,359,649	126	7,852,491	180	
	事業費	2,710,960	2,578,224	95	3,027,697	117	
	合計	6,166,536	6,937,873	113	10,880,188	157	
財源内訳	国庫支出金			-		-	
	県支出金			-		-	
	市債			-		-	
	その他			-		-	
	一般財源	6,166,536	6,937,873	113	10,880,188	157	
合計	6,166,536	6,937,873	113	10,880,188	157		

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		資料収集状況						
指標説明(式)		年度内に受け入れた資料数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
点	目標	120	120	100.0	120	100.0	0.0	
	実績	152	202	132.9	181	89.6		
指標名2		1ヶ月当たりの入館者数						
指標説明(式)		入館者数÷12ヶ月						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	100	150	150.0	150	100.0		
	実績	148	141	95.3	102	72.3		

【効率性】

指標名1		資料館入館者1人当たりにかかった経費							
指標説明(式)		資料館事業費(人件費を除く)÷入館者数							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	2480	1643	66.3	1937	117.9			
	実績	1522	1526	100.3	2555	167.4			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	市民サービス	郷土資料を市民共通の財産として、後世に引き継ぐことは不可欠である。	4
効率性	手段の最適性	資料館活性化サポート事業により特別展、資料館資料の収集・公開を行い、資料館事業の充実に努めた。また、文化会館の展示スペースを使って、資料館資料の公開を行った。	4
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	概ね計画どおりに進捗している。	4

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	寄贈を受けた貴重な資料や資料館活性化サポート事業で収集を行った資料を展示することで資料の有効活用を図る。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
妥当性	目的の妥当性	引き続き資料館の展示物の入替や特別展を実施するとともに、歴史講座や史跡めぐり等の市民参加型の事業を実施する。

配点	32.5
総合評価	24

# 事務事業評価シート

## 1 基本情報

		事業番号	010401050100		事業の種類	4	
年度	2	事務事業名	国際交流事業		予算事業名	国際交流事業	
		まちづくり目標	健やかな成長と人間力をのばせるまち		担当部局名	企画総務部企画広報課	
		施策名(中)	文化に触れ、参画できる環境をつくる		担当課長	松尾 次郎	担当者名 萩原 志帆
		取組み事項	多文化共生を推進する		実施計画への記載	無	主要事業の指定 無
実施計画事業名							
根拠法規及び関連法規							
事業の目的	誰のために(具体的に)	外国籍市民を含めたすべての市民					
	誰(何)を対象として	外国籍市民を含めたすべての市民					
	意図(どのような状態にしたいのか)	市民が国際化の意識を高めるとともに、外国人が安心して暮らせるようにする。					

## 2 事業の概要 Do

実施の概要		相生市国際交流協会による委託事業 (食を通じた国際交流事業、市内在住外国人との交流・支援事業)				
活動実績	項目	単位	30年度実績	1年度実績	2年度実績	
	スピーチ大会	人	-	-	-	
	食文化交流会	人	21	0	-	
	市民交流会	人	50	70	0	
	日本語教室(延べ人数)	人	1,168	513	336	

## 3 投入資源

		会計区分	一般会計			事業費単位:円		
インプット指標		30年度決算	1年度決算	前年比	2年度決算	前年比	備考	
人員	部長以上職員	0.028	0.029	104	0.030	103		
	参事以下職員	0.188	0.190	101	0.160	84		
	臨時職員			-		-		
支出内訳	人件費	1,767,332	1,778,809	101	1,454,120	82		
	事業費	250,000	220,000	88	250,000	114		
	合計	2,017,332	1,998,809	99	1,704,120	85		
財源内訳	国庫支出金			-		-		
	県支出金			-		-		
	市債			-		-		
	その他			-		-		
	一般財源	2,017,332	1,998,809	99	1,704,120	85		
合計	2,017,332	1,998,809	99	1,704,120	85			

## ※ 事業の進捗状況

事業費単位:円

## 4 評価指標

【有効性】

指標名1		国際交流協会事業						
指標説明(式)		事業数						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比	前年比	備考
事業	目標	5	5	100.0	8	160.0	0.0	
	実績	6	5	83.3	4	80.0		
指標名2		国際交流事業参加者数						
指標説明(式)		国際交流協会主催による事業への参加者数(延べ人数)						
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比		備考
人	目標	555	1,075	193.7	900	83.7		
	実績	1,239	749	60.5	336	44.9		

【効率性】

指標名1		事業参加者一人当たりコスト							
指標説明(式)		総事業費÷事業参加者							
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
円	目標	3,644	1,802	49.5	2,099	116.5			
	実績	1,628	2,669	163.9	1168	43.8			
指標名2									
指標説明(式)									
指標単位	区分	30年度	1年度	前年比	2年度	前年比			備考
	目標			-		-			
	実績			-		-			

5 事業の評価(2年度実績) Check

評価視点	具体的な評価視点	評価コメント及び現状認識	担当課評価
有効性	成果目標(改善)達成度	イベントを通じて市民と市内在住の外国人との交流を促進することができた。また、日本語教室を継続して行うことで、生活環境の向上が図れた。	3
	市民サービス	交流事業を行うことで異国の文化に触れ、市民にとって国際理解を深める機会となっている。また市内在住の外国人に対して日本語学習の場を提供することで、サービスの向上につながっている。	
効率性	コストの節減	日本語教室参加者数に変動があり、事業費が多少削減されているものの、一人当たりのコストは例年よりも増加している。	3
	手段の最適性	国際交流協会及びボランティアスタッフと協力し、事業を進めることが現状では最適である。	
進捗状況	事業計画に対する進捗状況	多文化共生に向けて概ね計画通りに進捗している。	3

6 課題として認識された点

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	対面で実施するイベント等交流事業が、新型コロナウイルス感染症の影響もあり、中止とする事業が多くあった。

7 事業の改革改善 Action

評価結果を踏まえた3年度の改革改善内容

評価視点	具体的な評価観点	内容
有効性	成果目標(改善)達成度	新型コロナウイルス感染症予防対策は徹底した上で、様々な方法により、交流促進が図れる機会を設けるようにしたい。

配点	32.5
総合評価	19.5